

日刊金属

発行所 有限会社メタル情報センター

本社 〒530-0043
大阪市北区天満2-12-3
南栄ビル3階E号
電話(06)6353-7831(代表)
FAX(06)6353-7832

東京支社 〒104-0033
東京都中央区新川1-31-8
ニッケハイム茅場町
電話(03)3523-0442(代表)
FAX(03)3523-0443

購読料 6ヶ月 36,750円 前金
3ヶ月 18,900円

貴金属

GFMS2012年上半期報告書発表会 今後の見通しについての所見発表 田中貴金属工業が開催

田中貴金属工業は9日、日本工業倶楽部会館にて「Thomson Reuters GFMS2012年上半期報告書発表会」を開催した。

当日は英国ロンドンに本部を置く貴金属の調査会社である「Thomson Reuters Gold Fields Mineral Services(GFMS)」より、長年にわたり貴金属市場の調査に携わってきたフィリップ・クラブヴァイク氏を招き、世界の金・銀・プラチナ・パラジウム市場の最新の動向から今後についての所見を表した。

この所見によると金相場場の2012年度の流れとしては1,750ドル～1,800ドル前後へと上昇を予想。

また2013年度についての予測では2,000ドルほどまでの上昇は見られるが、その後は

2014年度末までにかけては緩やかな下降線を辿るのではとの所見を示した。

その他、需要分野で見るとは「宝飾品」部門が今後も需要が伸び、曾田加工品関連等では横ばい推移か緩やかな下降線を辿るであろうとの予測もした。

そのほか、銀では「工業用」部門で2012年度で1万4,000トンから始まり、2014年度においては1万6,000トン程の需要を予想。

プラチナでは1,700ドル前後を境目にしてこちらも下降線を辿ると予想しているが、パラジウムでは逆に800ドルを境目に需要が増え、2014年度には1,000ドル前後までの上昇が見込めるのではとの所見を示した。

9月の銅スクラップレポート及び10月の見通し

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジはLMEセツルが8000—
8300ドル、建値が670—690円

■概況：前半は中国株の年初来安値更新や8月の米雇用統計の非農業雇用者数が2カ月ぶりに10万人を割り込むなどマイナス材料もあったがECB理事会で欧州債務国の国債を無制限での買取が決まった事や米FRBによるQE3(追加的金融緩和)が決定したことを好感。8400ドル(セツル)と約800ドル急騰しての前半締めとなった。

後半は中国国慶節前の実需筋の積み増しなどプラス材料もあったがフィラデルフィア連銀総裁がQE3の経済成長と雇用への効果については懐疑的との発言や独Ifc景況感

指数が予想外にあっかしたことを嫌気し10月1日現在前半締めから170ドル下落の8230ドル、建値68万円のスタートとなった。

■前月の経済指標：日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+4.5%の73万5999台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比+24.1%の28万8478台(前年比-8.1%)。また国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+2.1%(昨年比-5.5%)の7万7500戸であった。

貿易関連指標を見ると、財務省貿易統計によると輸出は前月比で電気銅が+6.9%の4万2724t、スクラップが-18%の2万2322t。輸入は、電気銅が前月比+16.5%の2453t、

スクラップ+15.7%の6768tとなった。

■前月の国内指標：日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比-15.1%の5万8190t(昨年対比-6.5%)となった。また日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によれば、前月比-6.4%の5万5700t(昨年対比+3.3%)であった。

■見通し：今月は自動車生産に関してもついに一時の好調さは消え、自動車販売や住宅関連はついに悪化が感じられた。欧州懸念は独憲法裁判所で欧州救済基金の設立が認められたことやスペインが緊縮財政に応じるなどしたことからかなり後退した。

自動車生産は前年比+14.5%の73万5999台と13カ月連続上昇、ただかなりの伸び悩みが見受けられ今後を危惧。また国内自動車販売台数が28万8478台と前年比-8.1%と悪化。自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比-15.1%の5万8190tの昨年対比(-6.5%)と15カ月連続前年割れ。

銅電線出荷量は、前月比-6.4%の5万5700t、昨年対比+3.3%と7カ月連続回復へ。自動販売の悪化を受けて今後を危惧。新設住宅着工数は季節調整前月比+2.1%の7万7500戸、前年比は-5.5%と大幅減少。

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比+6.9%の4万2724tと5カ月振りの増加。銅スクラップは+18%の2万2322tとこちらは上昇した。輸入は電気銅が+16.5%の2453t、スクラップは+15.7%の6768t。

銅需給に関しては、先月から自動車関連の需要が伸び悩み、また自動車販売台数で-8.1%とついに減少、生産台数で

相互繁栄を目指して!

ステンレス・チタン・特殊金属
原材料及び加工全般



八興商事株式会社

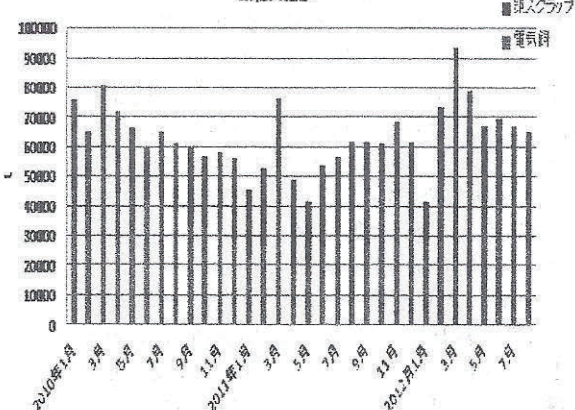
代表取締役社長 田所正輝

本社 大阪市西淀川区佃1丁目1番95号
TEL (06)6473-0921番
FAX (06)6473-0923番
中島事業所 大阪市西淀川区中島2丁目9番28号
TEL (06)6473-0924番
FAX (06)6473-0973番
市島事業所 兵庫県丹波市市島町下竹田友友 3172-1
TEL (0795)86-0406番
FAX (0795)86-0407番

	6月	7月	8月
生産台数	89万3149台	92万2685台	73万5999台
前月比	+20.1%	+3.3%	-20.2%
昨年対比	+20.3%	+16.7%	+4.5%
	7月	8月	9月
販売台数	32万8543台	23万2372台	28万8478台
前月比	+3.6%	-29.2%	+24.1%
昨年対比	+36.1%	+7.3%	-8.1%
	6月	7月	8月
新設住宅着工数	7万2566戸	7万5421戸	7万7500戸
季節調整 前月比	+7.3%	+4%	+2.1%
昨年対比	-0.2%	-9.6%	-5.5%
	6月	7月	8月
輸入			
電気銅	3258 t	2106 t	2453 t
前月比	+19.7%	-35.4%	+16.5%
スクラップ	5562 t	5870 t	6768 t
前月比	-29.2%	+5.2%	+15.7%

輸出	6月	7月	8月
電気銅	4万3366t	3万9980t	4万2724t
前月比	-1.1%	-7.8%	+6.9%
スクラップ	2万5905t	2万7231t	2万2322t
前月比	+12.6%	+5.1%	-18%

銅輸出推移



銅輸入推移

